

千葉県におけるこれまでの地震被害想定調査

- 1 これまでの地震被害想定調査
- 2 平成26・27年度千葉県地震被害想定調査
- 3 県の防災対策や啓発への活用

これまでの地震被害想定調査

昭和55～58年度

大正型関東地震等の海溝型3ケースの地震を想定

平成3～5年度、平成7年度

海溝型3ケースに加えて直下型4ケースの地震を想定

平成7年度に阪神淡路大震災の教訓を反映して更新

平成19年度

中央防災会議が平成17年に公表した国として初めての首都直下地震の被害想定を踏まえ、県の被害想定を更新

県にもっとも被害の大きい「東京湾北部地震」による被害を想定

平成26・27年度

東日本大震災を受けた国の首都直下地震の被害想定(平成25年公表)を踏まえ更新

「千葉県北西部直下地震」による被害に加えて、津波の被害想定を実施

平成26・27年度千葉県地震被害想定調査

千葉県北西部直下地震

市川市～千葉市かけての断層を想定
破壊開始点(震源)は千葉市と習志野市の
境界付近深さ50km(プレート内の地震)

マグニチュード 7.3

想定最大震度: 6強(28市町)

* 震度7は無い

津波は、震源が深く、陸域直下の
地震なので発生しない

房総半島東方沖日本海溝沿い地震

東日本大震災の震源域の南側の
割れ残り

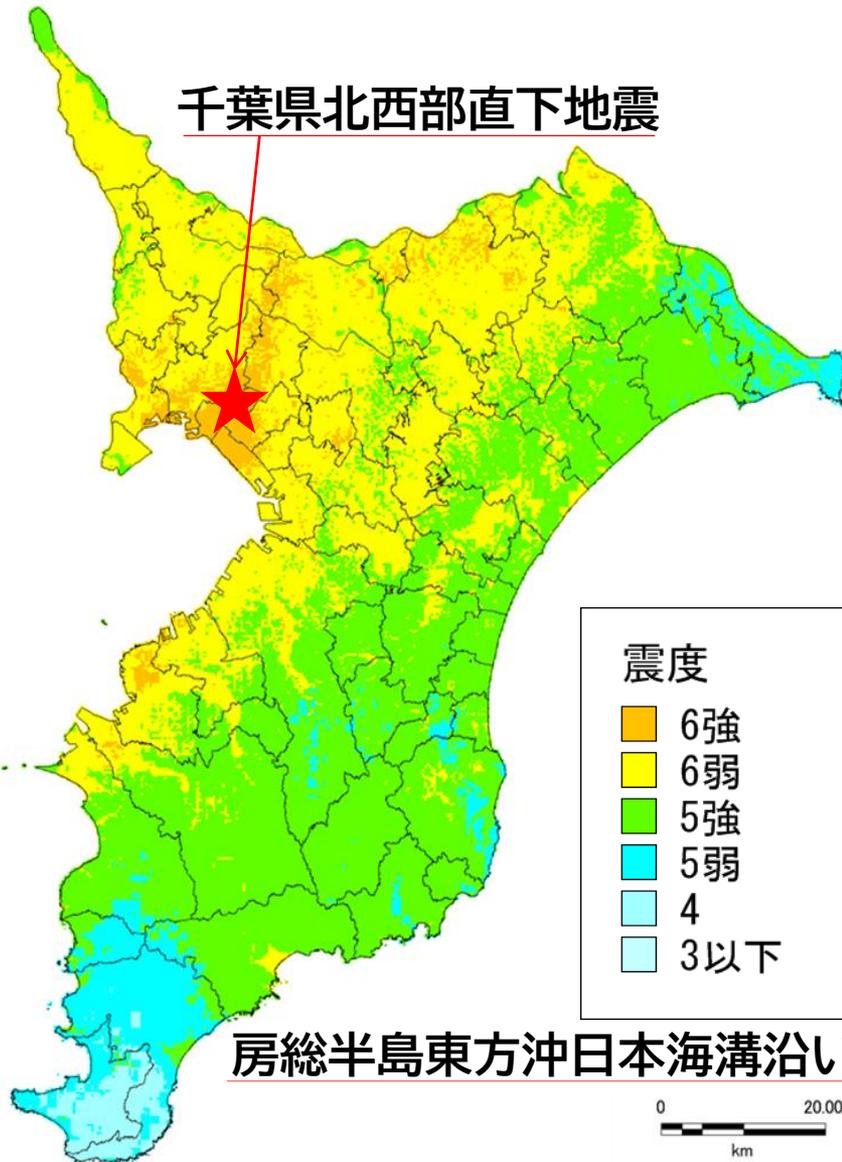
マグニチュード 8.2

津波地震のため、揺れの強さ、
揺れによる被害は想定していない

*上記のほか、被害量を算出せず揺れのみ想定した地震

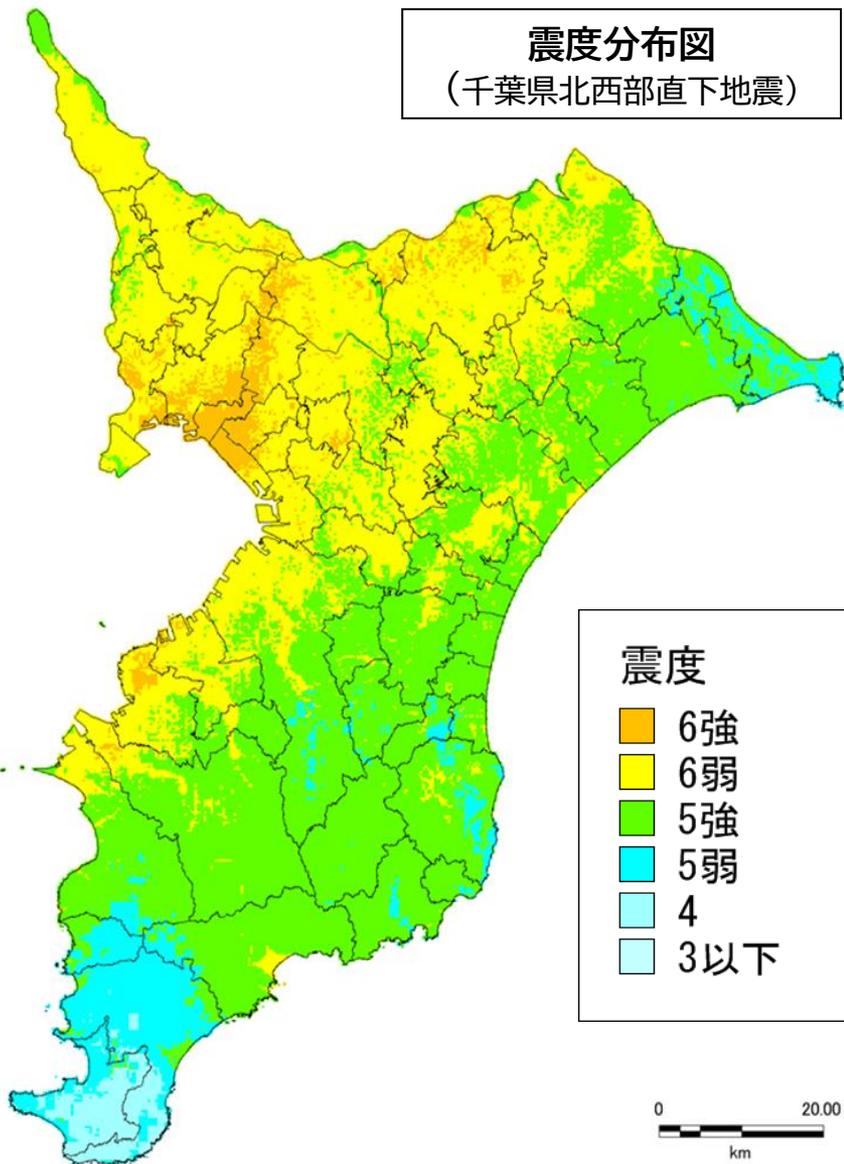
- ・ 大正型関東地震 Mw7.9
- ・ 防災リスク対策用地震

〔プレート内一律 Mw7.3〕
〔地殻内一律 Mw6.8〕

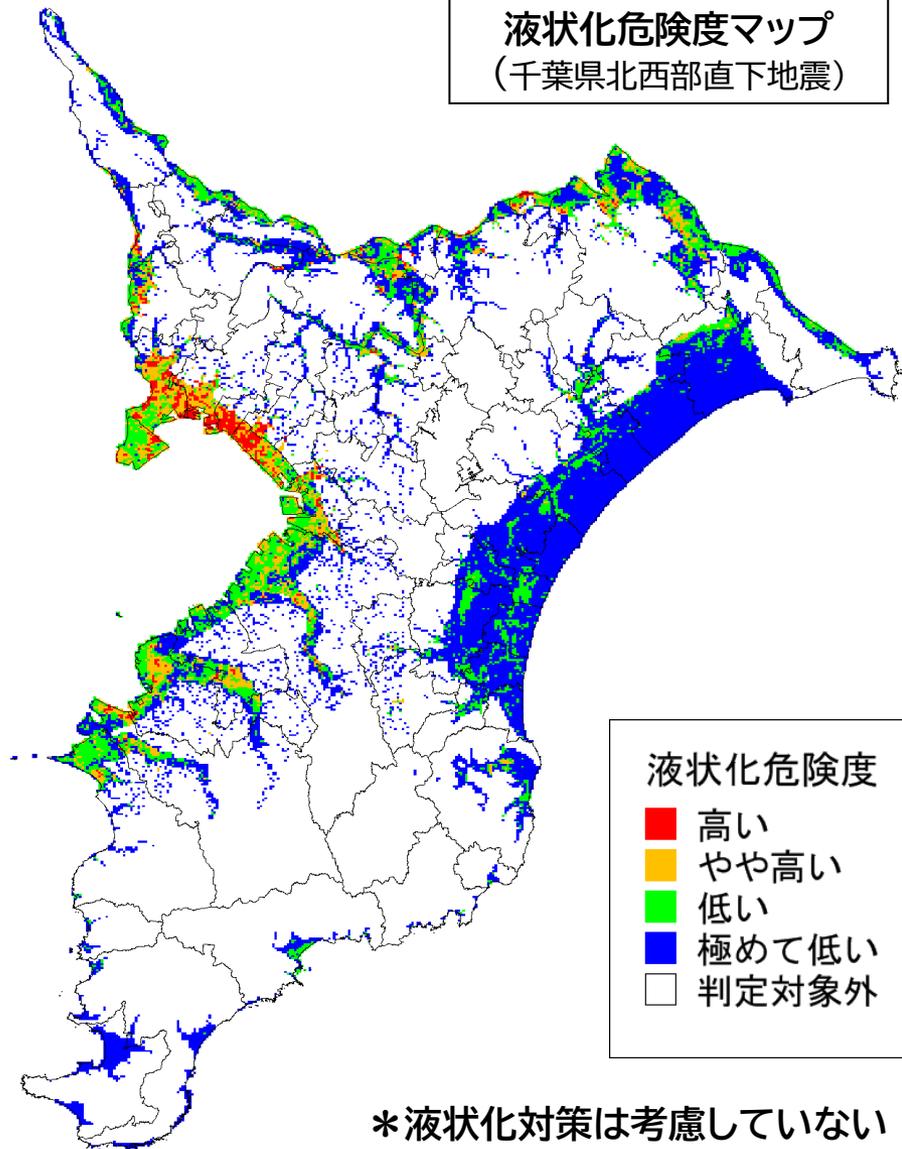


平成26・27年度千葉県地震被害想定調査

震度分布図
(千葉県北西部直下地震)



液状化危険度マップ
(千葉県北西部直下地震)



*液状化対策は考慮していない

平成26・27年度千葉県地震被害想定調査

千葉県北西部直下地震による主な想定被害量

建物被害	全壊・焼失棟数	81,200 棟	
	半壊棟数	150,700 棟	
人的被害	死者数	2,100 人	火災による死者が 60%以上
	負傷者数	25,100 人	避難所+避難所外 (ピーク時)
	避難者数	806,600 人	
	最大帰宅困難者数	1,477,000 人	県内+県外の県民 の帰宅困難者
ライフライン被害	電力供給停止率	49 %	発災直後に給水人口の42%に影響
	上水道機能支障人口	2,612,200 人	
	都市ガス停止戸数	479,000 戸	
	LPガス機能障害世帯数	82,100 世帯	建物の被害額が 50%以上
	エレベータ停止台数	2,500 台	
	携帯電話停波基地局率	46 %	
	災害廃棄物量	7,789,300 m ³	
経済被害額	直接被害額	8.14 兆円	

平成26・27年度千葉県地震被害想定調査

千葉県北西部直下地震

市川市～千葉市かけての断層を想定
破壊開始点(震源)は千葉市と習志野市の
境界付近深さ50km(プレート内の地震)

マグニチュード7.3

想定最大震度:6強(28市町)

* 震度7は無い

津波は、震源が深く、陸域直下の
地震なので発生しない

房総半島東方沖日本海溝沿い地震

東日本大震災の震源域の南側の
割れ残り

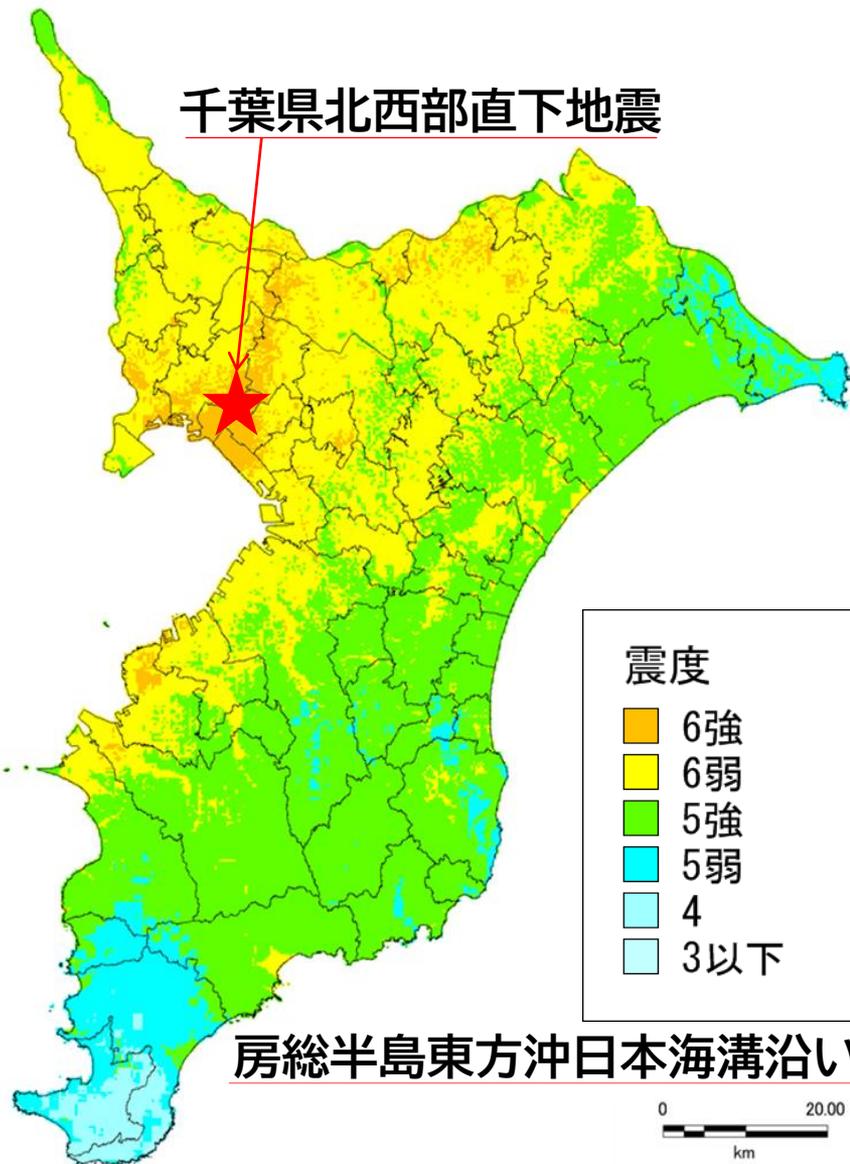
マグニチュード8.2

津波地震のため、揺れの強さ、
揺れによる被害は想定していない

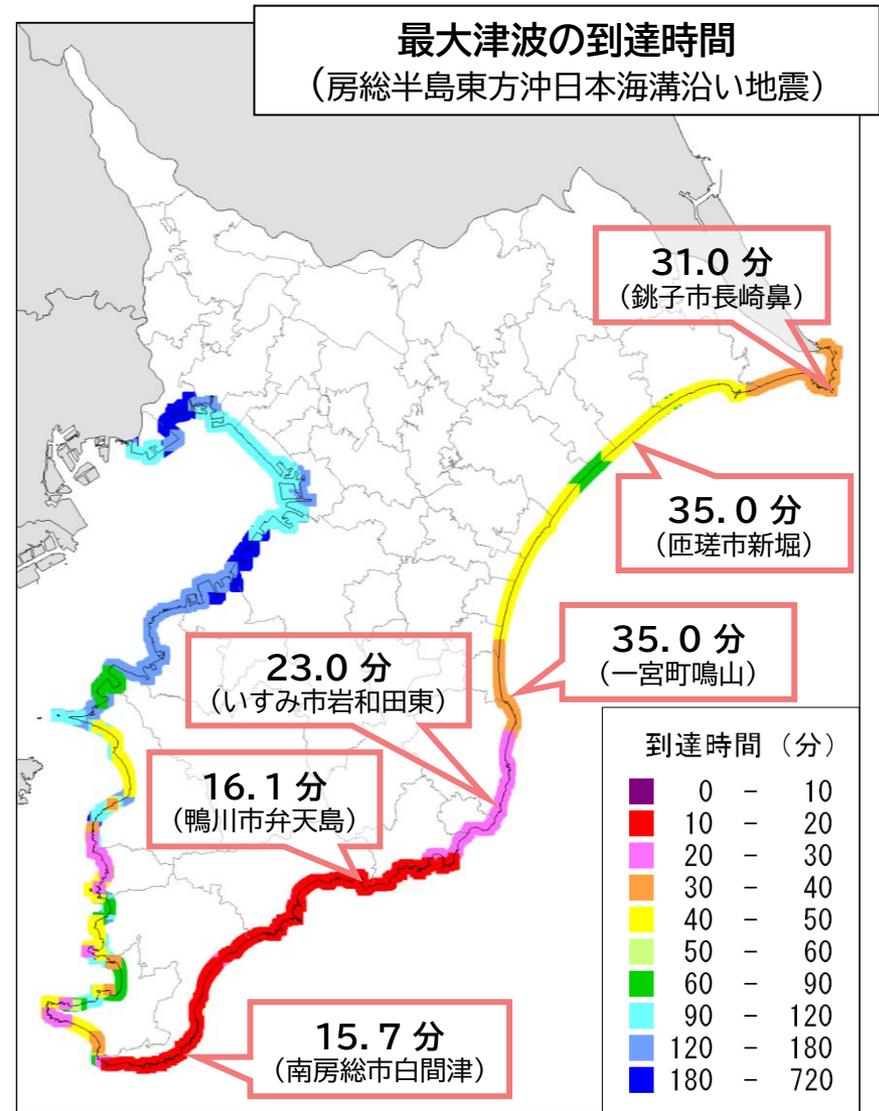
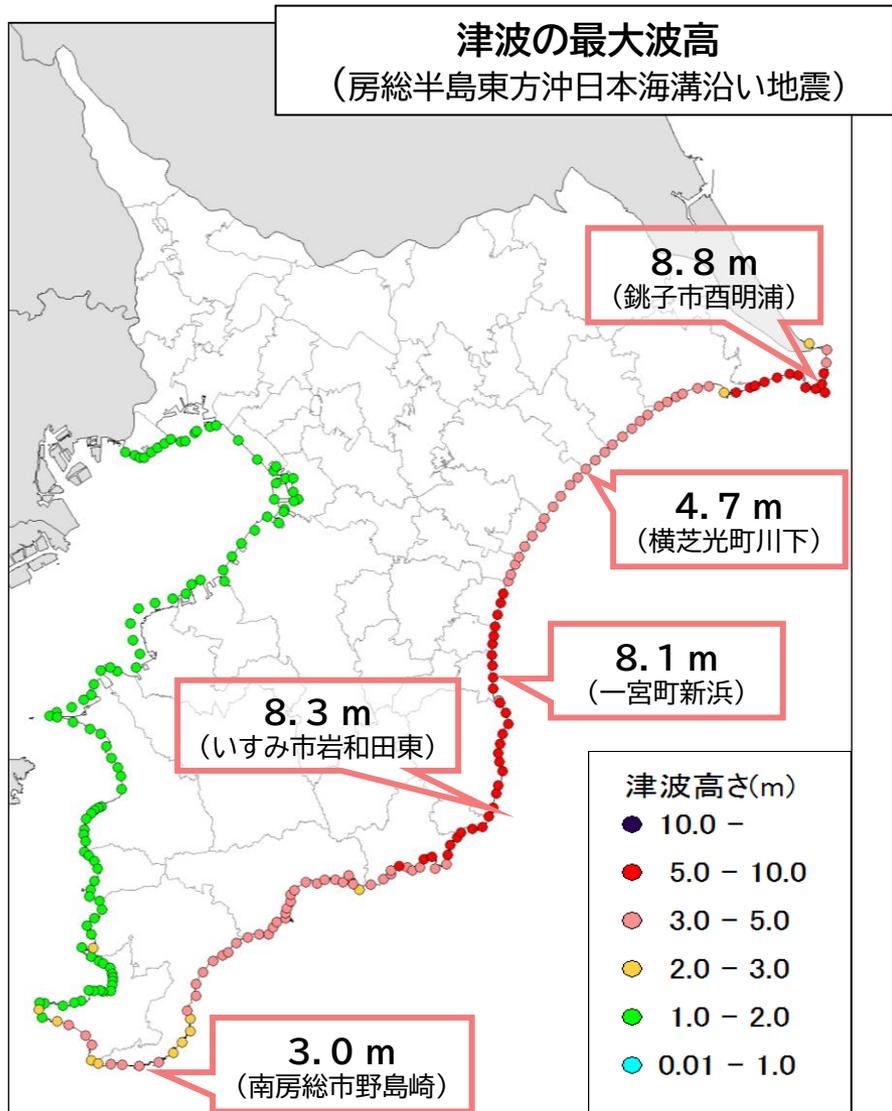
*上記のほか、被害量を算出せず揺れのみ想定した地震

- ・ 大正型関東地震 Mw7.9
- ・ 防災リスク対策用地震

(プレート内一律 Mw7.3)
地殻内一律 Mw6.8)



平成26・27年度千葉県地震被害想定調査



平成26・27年度千葉県地震被害想定調査

房総半島東方沖日本海溝沿い地震による想定被害量

建物被害	全壊棟数	2,900 棟
	半壊棟数	6,700 棟
人的被害	死者数(全員直後避難)	10 人
	死者数(早期避難率高)	1,300 人
	死者数(早期避難率低)	5,600 人

木造建物は浸水深
2mで全壊想定

迅速な避難により
被害は大幅に低減

避難行動別の比率

	避難する		切迫避難あるい は避難しない
	すぐに避難する	すぐには避難しない (用事後避難)	
全員直後避難	100 %	0 %	0 %
早期避難比率高	70 %	30 %	0 %
早期避難比率低	20 %	50 %	30 %

効果的な呼びかけ
が行われた場合

- 人的被害は、津波浸水深、津波到達時間に加え、住民の避難行動により左右される。地震・津波情報により、直ちに避難行動を起こすと被害は大幅に低減する。
- 津波被害の特徴は、死ぬか生きるかである。東日本大震災でも負傷者数より死者数が多い。

県の防災対策や啓発への活用

千葉県地震防災戦略 地震被害想定の結果に基づき、平成29年度に改訂

減災目標と対象期間

【減災目標】

千葉県北西部直下地震で想定される
死者数、経済被害額の概ね半減

【対象期間】

平成29年度～平成38年度(10年間)

千葉県地震防災戦略の主な内容

- * 県が実施する地震対策に関する長期的な行動計画
- * 減災目標を達成するための減災施策
 - ・ 3つの施策区分
(予防、応急、復旧・復興)
 - ・ 県の地域特性や特徴的な災害を想定し、各種減災対策に取り組む
- * 減災施策を実施・展開することにより、想定される死者数を半減させるとともに、直接被害だけでなく、間接被害を含めた経済被害額を半減させることを目標

施策例

- ・ 災害拠点病院の機能の充実
- ・ 大規模災害時における応援受入体制の構築
- ・ 県の業務継続計画(震災編)の実効性の確保
- ・ 自主防災組織のカバー率の向上・活性化の推進

I 予防対策 による減災

施策例

- ・ 住宅及び特定建築物等の耐震化の促進
- ・ 橋梁の耐震化の推進
- ・ 消防学校・防災研修センターの整備
- ・ 帰宅困難者対策の推進

施策例

- ・ 復興本部の体制づくり
- ・ 都市基盤施設等の復旧・復興対策の検討
- ・ 地籍調査の推進

千葉県 地震防災戦略

II 応急対策 による減災

III 復旧・復興 対策による 減災

県の防災対策や啓発への活用

ちば地震被害想定ホームページ

トップページでは「揺れやすさ」や「液状化しやすさ」などのリスク関連マップの表示ができるほか、被害想定調査の詳細を見ることが出来ます。

トップへ 被害想定 液状化を知る 県民シナリオ 身近でできる防災対策 被災ストーリー 防災教育 詳細データ

ちば EARTHQUAKE DAMAGE ESTIMATION in CHIBA
地震被害想定ホームページ

--ジャンプ先を選択--

マイハザードマップ

防災施設を表示

- 広域避難場所 (指定緊急避難場所)
- 避難所(建物) (指定避難所)
- 津波避難ビル (津波一時避難施設等を含む)
- 災害拠点病院
- 帰宅困難者収容施設

あなたが住んでいる地域のリスクを知る

- 揺れやすさ
- 液状化しやすさ
- 地形からみたリスク
- 津波浸水予測図

被害想定 住んでるまちはどうなる?

液状化を知る 液状化現象って?

県民シナリオ どんなことが起きる?

身近でできる防災対策 じぶんでそなえよう

被災ストーリー こんなときはどうなる?

防災教育 しらべてみよう

詳細データ よりくわしく知りたい方へ

このサイトの使い方

Copyright(C) Chiba Prefecture. All rights reserved. このページの注意事項

主なコンテンツ

- ① トップページ
- ② 被害想定
- ③ 液状化を知る
- ④ 県民シナリオ
- ⑤ 身近で出来る防災対策
- ⑥ 被災ストーリー
- ⑦ 防災教育
- ⑧ 詳細データ
- ⑨ マイハザードマップ

県の防災対策や啓発への活用

ちば地震防災ガイド(H28年9月発行)

地域別(5地域:北部、北西部、中央部、東部、南部)の災害リスクや地震被害に対する事前の備え・発生時の対処方法等を掲載

保存版
CHIBA

地域のリスクを知り、備える ちば地震防災ガイド

千葉県中央部 地域に
お住まいのみなさん
「震度6強」の地震への備えは
できていますか？

千葉県内ではどこでも「震度6強」の揺れが起こる可能性があります。
「立ってられないような激しい揺れ」が発生！その時、何が起きる？

古い木造建物(昭和56年以前)
に建てられ、耐震補強がされて
いないもの)の多くが倒壊

建物や家具・家電が倒れて
下敷きになり、そのまま火災に
巻き込まれる

建物が倒壊している場所では火災による出火が
止まらない

多くの地域で停電・断水し、食事や風呂、トイレなど
が不自由

海での地震の場合、沿岸部に
津波が襲ってくる恐れ
(一部にマリアスリッパ以上の地震の場合、
津波が発生する恐れがあります)

埋立地や河川周辺で液状化が発生する地域も

外出先から家に帰れない
場所がない
あなたも「帰宅困難者」に

停電や通信規制の影響により、電話がつながら
にくくなる

[本ガイドの主な対象エリア]
千葉市、木更津市、市原市、
君津市、袖ヶ浦市

次のページから、
お住まいの地域のリスクと
対策を確認しましょう

いのちを守るために 今できることは…

家屋の耐震化

以下に当てはまる場合は耐震診断を行い、必要に応じて耐震補強をしましょう。

- 昭和56年5月以前に建てられた
- 埋立地、低層部、盛土造成地にある
- 老朽している、シロアリや腐食の恐れがある
- 浸水・地震物大きな災害に耐えている
- 一部部分の壁が少ない、駐車庫になっている
- 耐震コンクリート塗り以外である
- 大きな窓がある

家具の固定

大きな家具はしっかり固定(化学接着、ベルト、突っ張り棒等)

- 遊具・子供遊具に大きな家具は避けろ
- 寝ている場所を安全に
- 避難経路が確保されるよう家具を固定し、配線を工夫する
- ガラスに飛散防止フィルムを貼る

地域の防災～自主防災組織

大規模災害が発生した直後、地域の助け合いが最大な力を発揮します。地域住民による自主防災組織は、災害時の助け合いを目的に養成で組織されており、避難・救助の訓練などを行っています。

地域の防災訓練には、ぜひ積極的に参加しましょう。また、日ごろから訓練をし、近所づきあいをしておくことも、とても大切です。

外出先で被災した場合の備え

災害時、一斉に災害で帰宅を始めると、救助活動の妨げとなり、また、集団での転倒や、建物からの落下物により、けがをする可能性があります。むやみに移動せず、安全な場所にとどまりましょう。

- ・職場に、水・食料・地図・スニーカー・懐中電灯などを用意しておきましょう。
- ・家族と安否確認の方法や集合場所を確認しましょう。

このステッカーが掲示されているお店は、水や食料、医薬品などを提供してくれます。

備蓄品の準備

日ごろの食料品を多めに買い置きし、古いものから順に使い、使った分を補充して行く「常備方法」を「ローリングストック」と言います。

比較的数量なく長期の備蓄が準備でき、特にカセットコンロがあれば、普段通りの速い食事をすることができます。

【非常用持出品リスト】

以下は代表的な例です。高齢者がいる、赤ちゃんがいるなどの場合は、追加が必要です。

- 飲料水
- 非常食
- 缶詰、非常補助食品など
- 携帯電源の予備バッテリー
- 懐中電灯(予備の電池)
- 携帯ラジオ(予備の電池)
- ヘルメット、防災ずきん
- 緊急医薬品
- 常備薬セット、お薬手帳
- 箸、コップ
- 寝具、タオル
- 洗面用品
- 電池
- 懐中電灯
- ナイフ
- ライター(マッチ)、ろうそく
- 折り紙、ゴミ袋

※高齢・障害などの貴重品は、予め保管するうえでおくとしましょう。

備蓄品の例

【食料】	【災害時時に必要なもの】	【個人事情で必要なもの】	【その他あなたが必要なもの】
<input type="checkbox"/> 水(1人1日)	<input type="checkbox"/> 非常食	<input type="checkbox"/> 常備薬	<input type="checkbox"/> 寝具
<input type="checkbox"/> カセットコンロ	<input type="checkbox"/> 懐中電灯	<input type="checkbox"/> 生活必需品	<input type="checkbox"/> 洗面用品
<input type="checkbox"/> 非常食パック	<input type="checkbox"/> 携帯電源の予備バッテリー	<input type="checkbox"/> 折り紙	<input type="checkbox"/> 懐中電灯
<input type="checkbox"/> 箸	<input type="checkbox"/> 懐中電灯	<input type="checkbox"/> 懐中電灯	<input type="checkbox"/> オムツおしりふき
<input type="checkbox"/> カップ麺	<input type="checkbox"/> ゴミ袋	<input type="checkbox"/> 携帯電源	<input type="checkbox"/> その他あなたが必要なもの
<input type="checkbox"/> レトルト食品	<input type="checkbox"/> 生活必需品	<input type="checkbox"/> 懐中電灯	
<input type="checkbox"/> 懐中電灯	<input type="checkbox"/> 携帯電源	<input type="checkbox"/> 懐中電灯	
<input type="checkbox"/> 非常補助食品	<input type="checkbox"/> トイレレットペーパー	<input type="checkbox"/> 懐中電灯	
<input type="checkbox"/> 非常食	<input type="checkbox"/> 懐中電灯	<input type="checkbox"/> 懐中電灯	
<input type="checkbox"/> 非常食	<input type="checkbox"/> 懐中電灯	<input type="checkbox"/> 懐中電灯	
<input type="checkbox"/> 非常食	<input type="checkbox"/> 懐中電灯	<input type="checkbox"/> 懐中電灯	
<input type="checkbox"/> 非常食	<input type="checkbox"/> 懐中電灯	<input type="checkbox"/> 懐中電灯	

※非常食は3日分以上が原則です。東日本大震災や熊本地震では、支援が行きわたるのに時間がかかりました。できれば一週間分があると安心です。

※本ガイドは5地域別(北部、北西部、中央部、東部、南部)に作成されており、全て千葉県ホームページからダウンロードできます。 [ちば地震防災ガイド](#) [印刷](#)

発行：千葉県防災危機管理課防災政策課(平成28年9月1日発行)
連絡先：〒260-8667 千葉県中央区市場町1番1号 TEL 043-223-3697 FAX 043-222-5208